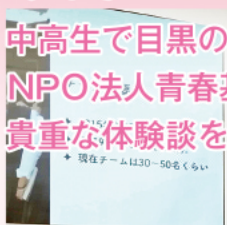


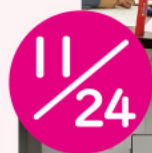
中高生ミライ計画部@めぐろ

中高生で目黒の今後について座談会を行いました。

NPO法人青春基地代表の石黒和己さんに
貴重な体験談をうかがいました。



△参加者は8グループに分かれて座談会を行いました。



▲座談会の前に「めぐろ中高生アンケート」の集計結果が発表されました。

高校生のころからさまざまな活動を行い、若者の政治参加を促進するNPO法人「僕らの一歩が日本を変える。」では、国会議員と高校生が議論するイベントも運営されたそうです。卒業旅行の費用を捻出するために学校新聞を書いて、それを保護者の方々に買ってもらったこともあるそうです。

11月24日(土)、中目黒スクエアにて、中高生で目黒区や自分たちのこれからについて考える座談会が開催されました。グループに分かれての自己紹介の後、ゲストのNPO法人青春基地の代表・石黒和己さんが、高校時代の体験談や青春基地を始めたきっかけをお話してくださいました。

NPO法人青春基地 代表・石黒和己さん

1994年、愛知県生まれ。NPO法人青春基地では「想定外の未来をつくる！」をコンセプトに、10代のウェブマガジン青春基地 (<http://seishun.style>) や、中高生向けのプログラムを展開。日本の中高生の自己肯定感や意欲の低さへの取り組みとして、アクションから学ぶ Project Based Learning (通称PJBL) を掲げる。中高生時代はオルタナティブ教育の一つであるシュタイナー教育を受けた。関心領域は、教育、メディア、アクティブラーニング、シティズンシップ教育、教育思想など。

